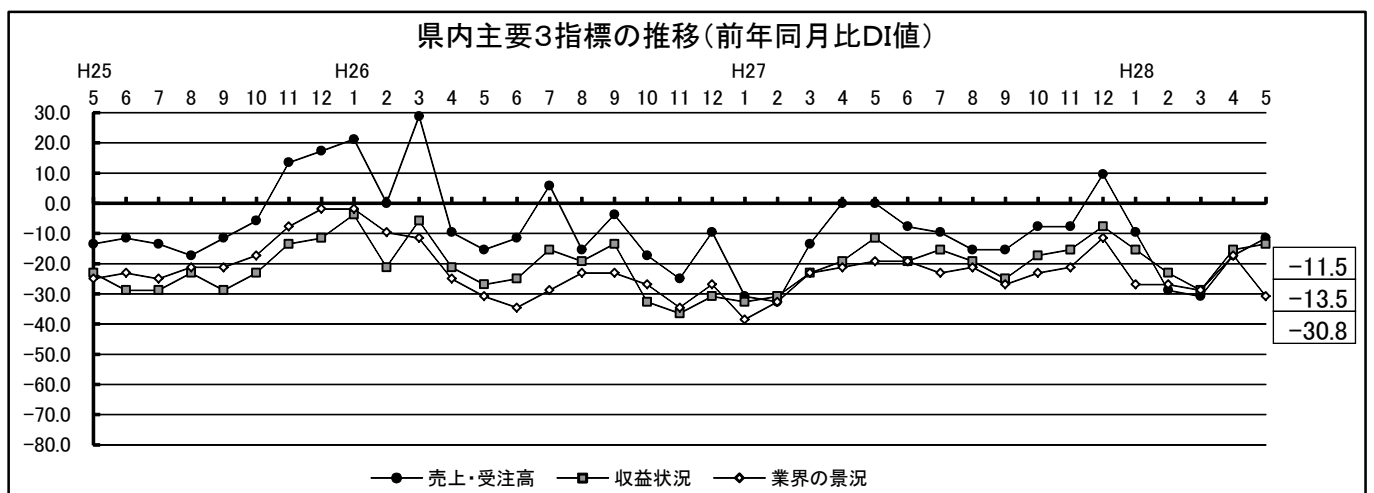


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年5月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 5月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の6指標が上昇し、「販売価格」「設備操業度」「業界景況」の3指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より5.8ポイント上昇の-11.5ポイント、「収益状況」が1.9ポイント上昇の-13.5ポイント、「業界の景況」が13.5ポイント低下の-30.8ポイントであった。
- 9指標中6指標が緩やかな上昇傾向にあるものの、「販売価格」が5ポイント、「業界景況」が10ポイントを超えて大きく低下した。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-11.5	5.8	-28.7	-4.8
収益状況	-13.5	1.9	-27.4	-1.9
業界の景況	-30.8	-13.5	-33.2	-3.5

売上・受注高

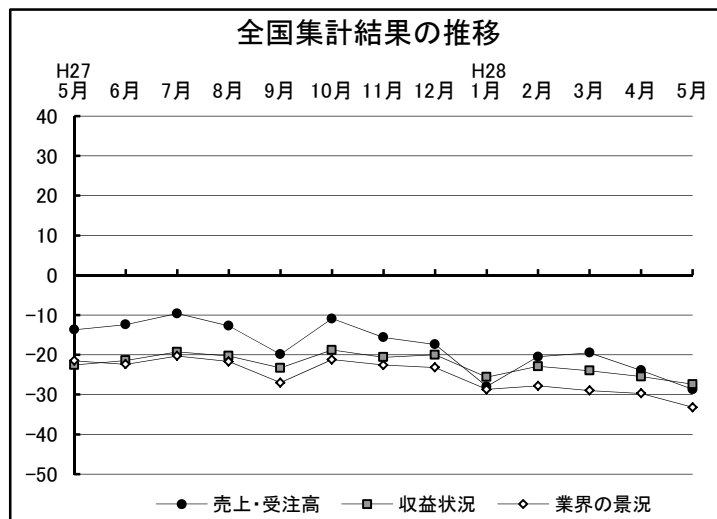
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より5.8ポイント上昇の-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より4.8ポイント低下の-28.7ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント上昇の-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より1.9ポイント低下の-27.4ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より13.5ポイント低下の-30.8ポイントとなった。全国においては、前月より3.5ポイント低下の-33.2ポイントとなった。



概況

5月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「売上」「在庫」「条件」「収益」「資金」「雇用」の6指標が上昇し、「価格」「設備」「景況」の3指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より5.8ポイント上昇の-11.5ポイント、「収益」が1.9ポイント上昇の-13.5ポイント、「業界の景況」が13.5ポイント低下の-30.8ポイントであった。指標を個別に見ると、6指標で緩やかな上昇傾向を示しているものの、「価格」が5ポイント、「景況」が10ポイントを超えて大きく低下した。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が低下した。「収益」は非製造業で2業種が上昇、2業種が低下した。「景況」は製造業で5業種が低下、非製造業で2業種が上昇、3業種が低下した。

全国指標では、前月の前年同月比D I値と比べて9指標中1指標が上昇、8指標が低下した。家庭を起点とする「消費不況」の強まりに伴い、物価の下落や消費者の賃金低迷といったデフレ圧力がますます高まっている。また、消費税率10%実施が延期されたことにより、事業運営の不安要素が減少したとの声がある一方で、駆け込み需要の喪失や景気後退の深刻化を重く見る企業も多い。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	○	△	△	△	○	△	△	△	△
木材・木製品	△	△	×	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	×	△	×	△	△	△	×
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	×	△	△
鉄鋼・金属	×	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	×	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	○	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	×
運輸業	×	—	△	△	×	△	—	△	×
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転
(DI値 +40ポイント以上)

△ 不変

× 減少・低下・悪化
(DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	50.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	-25.0
木材・木製品	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	25.0	-25.0	25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0
窯業・土石	-50.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	-50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0	0.0	-50.0
製造業	-12.0	-8.0	-16.0	0.0	-12.0	4.0	-24.0	8.0	-32.0
卸売業	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-14.3	28.6	0.0	-28.6	-14.3		14.3	-42.9
サービス業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-16.7	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-40.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-11.1	0.0	7.4	0.0	-14.8	-3.7		0.0	-29.6
全体	-11.5	-5.7	-3.8	0.0	-13.5	0.0	-24.0	3.8	-30.8

図表3～【指標別DI値の推移】

	H27								H28					前月比
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
売上高	0.0	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	5.8
在庫数量	5.7	-2.9	-8.6	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	2.9
販売価格	9.6	7.7	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.6
取引条件	-9.6	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	3.8
収益状況	-11.5	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	1.9
資金繰り	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	9.6
設備操業度	-8.0	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-4.0
雇用人員	-13.5	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	1.9
業界の景況	-19.2	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-13.5

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	-25.0
繊維・同製品	0.0	-25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-50.0
木材・木製品	0.0	25.0	-25.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	-50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	50.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	-1.0	0.0	-12.0	-4.0	-1.0	8.0	-4.0	8.0	-24.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	\	-33.3	33.3
小売業	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	28.6		14.3	14.3
サービス業	16.7	\	-16.7	0.0	-16.7	0.0		-16.7	-16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	20.0		0.0	-20.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1	10.0	-3.7	11.1	3.7	11.1	0.0	-3.7	-3.7
全体	5.8	2.9	-7.7	3.8	1.9	9.6	-4.0	1.9	-13.5

特記事項

情報連絡員報告（平成28年5月分）

所属組合	特記事項
染色整理業	一部好転が見られる。
一般製材業	前年同月と比べると横ばいの状況だった。加工坪数、売上高も同じくらいであり、6月はやや上向きが予想される。
木材・木製品製造業	今年度は新人を採用できた。少しは明るくなることを願いたい。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。各企業それぞれ生き残りを模索している。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連機械加工…円高の影響を受けメーカーより取引条件の見直しが出てきており、今後の為替相場の動向を各社とも注視している。 ・機械設備関連…大型受注が少なく、各社苦戦している。 ・プレス金属加工…機械加工業同様、取引条件の見直しに頭が痛い。
一般機械器具製造業	全般的に受注が激減し、操業が低下している。
一般機械器具製造業	なんとなくではあるが、やや不景気感が感じ取れる。
各種商品卸売業	<p>例年実施している当団地内組合員等を対象にした調査結果によれば、平成28年4月1日現在での団地内総従業員数は1223名（正規1009名、非正規214名）で、対前年度との対比では計87名（正規82人減、非正規5人減）の減であった。</p> <p>近年雇用環境の改善が進む一方で、中小企業の人手不足が深刻化するとともに、若者の高い早期離職率などの課題も見え始めてきたようだ。</p>
食肉小売業	<p>国産和牛・交雑牛の出荷が少なく、市場最高値が続いている。豚肉も全国的に出荷が少ない上、牛肉高値から豚肉に消費が流れている。</p> <p>商品の動きは全般的に微増である。</p>
中古自動車小売業	三菱、スズキの燃費偽装、測定違反等の問題もあるが、個人の購買意欲は低調。新車の下取り状況も悪く、活況がない。
各種商品小売業	一般小売業は4月後半の連休、5月のゴールデンウィークより急激に売り上げが低下した。大型・中型店舗、スーパーまで小売全般にわたり悪くなった。
各種商品小売業	<p>本年のゴールデンウィークはおおむね好天に恵まれたため、多くのお客様が行楽地へ足を伸ばす結果となり、ショッピングセンターとしては非常に厳しいものとなった。客数が前年比90%を切ってしまったことの大きな要因の一つと考えられる。コンパクトなSC像を目指しつつも、集客力のあるイベント、企画を再考していきたい。</p>
花・植木小売業	<p>花業界では今年前半の大イベントである母の日。毎年5月の第2日曜日が割り当てられる「母の日」は今年、暦の上で最も早い日程となる。また、大型連休（GW）の最終日と言うことも影響してなのか、小売店の話を聞くと事前注文の動きがやや鈍く、天気にも恵まれた前日の土曜日と当日も客足が少なく、売り上げも前年比で2～3割減との声が多く聞かれた。</p>
自動車整備業	組合であることのメリットを再確認・再検討していかななくてはならないと考えている。

ビルメンテナンス業	売上高は増加したが、収益性の低い仕事が増えただけで収益状況は変わらなかった。
給食センター	平成 28 年 3 月末で不採算部門は撤退したが、平成 28 年 4 月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。 食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造した弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	5 月の宿泊者数の増減については、施設ごとにまちまちであり、相対的に見ると前年比でほぼ横ばいであった。ゴールデンウィークの入りは 5 月 3 日、4 日のみがピークであり、前後に平日が入ったせいか例年より弱かった。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは 859%増、敷物用ラベルは 69%増、壁装用ラベルは 80%減であった。 ラベル支給（売上）金額前年同月比 48%減であった。 本年 4～5 月累計では、前年同月比カーテン用ラベル 78%減、敷物用ラベル 31%減、壁装用ラベル 57%減であった。 今期に入り大規模工事が減少し、4 月、5 月累計をみても大幅にラベルの支給枚数が減少し、業界の受注減少が顕著に表れている。
一般貨物自動車運送業	燃料価格の下落効果で営業利益は改善傾向にあったが、ここにきて燃料価格が上昇傾向を示しており、厳しい環境になるものと懸念している。 相変わらず若年ドライバー不足が深刻である。
一般貨物自動車運送業	燃料高騰によりコストが高くなっている。
貨物軽自動車運送業	ゴールデンウィークが明けても、一般貨物の受注量は回復せず。昨年同月日に比べると、スポット便は減少傾向にある。輸送量が減少しているのにドライバー不足は深刻化する等、変な現象が生じている！！
一般乗用旅客自動車運送業	ゴールデンウィーク中は多くの観光客が見受けられましたが、タクシーの利用には至っていない状況でした。一工夫が必要。 平日の売上が若干落ちている。
大谷石採石業	ほとんどが貼石に移行していて、前年同月比でほぼ同じレベルで推移している。大きな物件がないため、大きな変化はない。 昨年から、生産量としては微量であるが、新しい商品が出ており、今後の販売増加に期待したい。